

五リうす

ちよつと見 お菓るなりかあかずなりか

不明^の存と^の水^のあ^るよ^うだ

岩^手出^身の人は 袋^でまよ^くつ^くた^の

い^ろん^を臭^味を^入れ^て 油^でみ^ぎる ^と言^う

てい^は

それを見たとこ^ろ うす茶^葉で⁺せ^て4^の

同^型で⁺油^はを⁺さ^そう^だ

う^す味^で煮^たよ^うに^見え^る

その^中が⁺何^も ^レニ^コレ^レ ^どん^こレ^レ ^人参^レ

台^は

こ^ぼう^う ^こぶ^し ^みと^ニ種^レ ^入っ^てい^た

ご^はん^に ^よく^あり^そう^だ

名^茶は⁺ふ^りう^すと⁺か^いて^あつ^た

は^じめ^てう^すま^りだ

北^の日^を海^側で^の物^のう^ろう^だ

地^味は^よう^てし^ずあ^しい^もが⁺あ^りる

全^活の^しか^た ^合べ^物 ^ニと^ば

北^かう^南まで⁺あ^りて⁺見^て4^たい

東北^の「^にサ[、] ^ユサ[」] ^は感^心し^た

これ^でサ^キ4^とし^とつ^たり^うの^は ^不思^儀の^よう

に軍やよき世思われ、だ
にいし
たものだ

新時中 東北へ疎開した折

女性かへう もつてこらい

と言っ ていた じやまじを もつて 来た下さいし

なりだ

まいていろうちね お原えうもりだ

回身出身の友人、横濱に住むうぶね

そうじやん、はあ、ありやうとしまうだ

来と行くと、そうぶう、そうだもし

そうです、そりかかれぶつ変代してい

東京へ来た折、ちや、に、かゝるやうだ

今や、あちちや、に、行、ちや、だ

と、早急で、行、て、い、う

二と、け、お、え、ま、る、よ、う、に

ふり、い、す、も、日本中に、広、が、つ、て、行、く、か、ま

し、山、を、り

2021
10/26